



あなたの最善の投資！

祝福された溢れるほどのリターンを得ることは、正しい投資をすることから始まります。もしあなたが新たにキリスト者になったのなら、あなたの信仰にとって神のみことばを定期的に摂取することほど偉大な投資はありません。みことばを読んで、理解して、毎日の生活に効果的に適用することを学び始めましょう。デビッド・J

・スワント氏の「この世から離れて：キリスト者の成長と目的ガイド」から引用しました。

Copyright © 2013 David J. Swandt. All Rights Reserved.

Published under license agreement by Twenty20 Faith, Inc. (USA). Not intended for resale. For more information visit:

www.twenty20faith.org

「保証されたリターン！」

今日の世界で、ある人たちはこの言葉に眉をひそめ、またある人たちは疑いを抱きます。しかし、人生におけるほとんどすべての側面に適用できる普遍的な法則があります。すなわち、種まきと収穫の法則、もっとシンプルに言えば、「蒔いたものを刈り取ること」です。

初めに種を蒔かなければ、収穫を刈り取ることはできません。最初に投資しなければ、リターンを得ることはできません。最初に商品やサービスを購入しなければ、その利益は受けられません。バランスの取れた食事や定期的な運動なしには健康は保てません。そしてこれらすべての例において、得られるリターンは、先行投資した質や額に見合ったものとなります。

同じ法則が神と私たちの関係にも当てはまります。収穫を生み出す種を蒔かなければ

、神との満たされた、祝福された歩みを刈り取ることはできません。

良い知らせとは、神が良い種を私たちが容易に用いることができるようにしてくださったことです。それはみことば、すなわち聖書です。人生に気前よく神のみことばを蒔くことで、その投資への豊富なリターンが保障されます。

「聖書の概観」

聖書は、キリスト者としてバランスの取れた、満たされ祝福された人生を過ごすための不朽の諸原則や明確な指示と模範で満ちています。実際、神のみことばは、変わりゆく時や季節に関わりなく、決して無意味になったことはなく、これからもならないでしょう。そして私たちの人生に対する神の目的を成し遂げるために私たちを整え、備えてくれます。

「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。それは、神の人が、すべての良い働きのためにふさわしい十分に整えられた者となるためです」(IIテモテ3:16-17)。

聖書は、親しみをこめて書かれた神の姿、神が人類に対して示されたすべてのこととみなすことができます。以下は、それが何を意味するかを定義するためのいくつかのポイントです。

1-聖書は神の愛の具体的な表明です。それは神の属性と性質、神のコミュニケーションと戒め、そして究極的には、これまで生きてすべての人に対する神の愛を完全な形で表明したものです。

2-聖書は神の息吹です。聖書66巻は物理的には多くの執筆者によって書かれていますが、各人は書くべきことについて聖霊を通じて神から直接靈感を受けています。

3-聖書は私たちの人生にとって神の権威です。最終的に、聖書は神の人類への「手紙」であり、そしてこうして書かれたものの中には神の息吹が含まれているので、神のみことばは私たちの人生にとって神ご自身と同じ権威を持つのです。

神のみことばは、私たちの霊的成長と神における成熟にとって最も重要な基盤の1つです。神のみことばの種が私たちの人生において最終的に咲き誇るようにするためには、私たちはそれを読み、その理解を発展させて、私たちの人生に適用することで、みことばの種を蒔く必要があるのです。

「聖書を定期的に読みましょう」

私たちの多くは、聖書がたくさんの読書の題材を提供してくれると思っています。そのいくつかは時には圧倒するよう思えたり、時には不明瞭に思えます。ここでは、聖書を読む時に参考になり、より良い理解を助けてくれる、聖書に関するいくつかの事実を挙げてみましょう。

第1に、聖書が2つのセクションに分かれていることが分かります。

旧約聖書は、世界の創造から始まって、イスラエルの歴史を編纂した書を集めたものです。そこには民族としての敗北が敵による捕囚という結果をもたらしたことや、キリスト誕生に先立つ数百年前に、最終的に捕囚から帰還してエルサレムを再占拠したことなどが含まれます。また旧約聖書は神がイスラエルの民に与えられた律法です。

新約聖書はイエスの誕生の直前から始まり、その生涯と宣教、私たちの救世主としての死と復活、そして究極的には世界に広がる教会の設立と拡大について書かれた書を集めたものです。新約聖書に啓示された、恵みによってキリストにある自由を得るというメッセージは、旧約聖書で課されている儀式を成就し、かつそれに替わるものです。

第2に、一般論として言えば、旧約・新約聖書には3種類の書があります。

- ① 歴史的記述-主な登場人物や重要な歴史的出来事について、真実の物語を提示する書です。
- ② 指導のための書-歴史的出来事の記述を具体的提供するのではなく、キリスト者の生き方、教会の組織、および個人や家族の事柄について、多くの面で指示を与える書や聖句です。

③ 奨励のための書-執筆者から読者に対する励ましや、感情を鼓舞し表明するように意図された詩的・芸術的書です。

新約聖書の各書の中で、イエスの生涯と宣教の歴史的記述を提供しているのは、マタイ、マルコ、ルカ、ヨハネです。これらの四書は福音書とも呼ばれます。使徒の働き
の書は、イエスの死と復活の後のキリストの教会の設立と拡大を年代順に記録した、新約聖書のもう1つの歴史書です。

新約聖書の中で、指導のための書はローマ書からユダ書までです。これらは、教会の指導者たちから他の教会員や世界各地の諸教会に宛てられた実際の手紙で、助言や指示が含まれています。

旧約聖書の詩篇は、奨励のための書の偉大な例です。以下の聖句は、神のみことばを自分の人生の中に継続的に投資する人に対して神が与えてくださる祝福を保証する、靈感にあふれた詩篇の一例です。

「まことに、その人は主のおしえを喜びとし、昼も夜もそのおしえを口ずさむ。その人は、水路のそばに植わった木のように。時が来ると実がなり、その葉は枯れない。その人は、何をしても栄える」(詩篇1:2-3)

神のみことばを私たちの人生に植えるために、私たちは日々の生活において聖書を読むことを習慣づける必要があります。神のみことばの種が人生に咲き誇れば咲き誇るほど、神の祝福は、よりはっきりと現れてくるでしょう。たとえ干ばつの時であっても困難の中にあっても、自分を支えるため、みことばから力を得ることができるでしょう。

「知識を拡大しましょう」

みことばの知識を拡げることは、生涯続けるべき努力です。一晩で終わるものではありません。より包括的な理解を養ういくつかのアプローチがあります。以下はその例です。

① ツールをいくつか得ること。読んでいるものをより良く理解する助けとなる、いくつかの学習補助教材があります。例えば、スタディー・バイブル、コンコルダンス、テーマごとの学習ガイドなどが、オンラインでも本でもあります。

② バイブル・スタディー・チームやモール・グループに加わって、他のキリスト者たちと交流し、他の人たちが神のみことばをどのように人生に適用しているかを観察すること。

③ 計画を持つこと。個人的に聖書を読む時間を取ることに意欲的な人たちには、聖

書全体を通してガイドとなる YouVersion(社)の聖書アプリ(Bible App)にいくつかのプランがあります。これらの多くは、1年間で聖書を読み通すことができるように助けてくれます。少なくともそれは特筆に値するほどの大成果です！

みことばに時間を費やせば費やすほど、みことばをよく理解するようになります。そうすることによって、自分の年齢や立場に必要な事をしっかり理解できるように、神が助けてくださっていることを知るでしょう。

「神の原則を日々適用しましょう」

「あなたのみことばは、私の足のともしび、私の道の光です」(詩篇119:105)。

キリスト者にとって、神のみことばは、時として暗やみとなる世界を照らす力となります。神のみことばは、私たちがその真理に心を開き、それに人生を深く貫かせる時にのみ、光の源泉となります。イエスは、マタイ福音書にあるたとえ話でそれを次のように描写されました。

「種を蒔く人が種蒔きに出かけた。蒔いているとき、道ばたに落ちた種があった。すると鳥が来て食べてしまった。また、別の種が土の薄い岩地に落ちた。土が深くなかったので、すぐに芽を出した。しかし、日が上ると、焼けて、根がないために枯れてしまった。また、別の種はいばらの中に落ちたが、いばらが伸びて、ふさいでしまった。別の種は良い地に落ちて、あるものは

百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結んだ」(マタイ13:3-8)。

この物語に出てくる種は聖書を表し、様々な土壌は神のみことばを受け入れる際の、私たちの心構えや意欲を表します。農夫によって蒔かれた種のすべてが、農夫が期待した結果を生み出すわけではないことに注意しましょう。良い地に蒔かれた種だけが農夫の期待する結果を生み出します。この物語の意味をイエスが説明された、マタイ13:18-23を読みましょう。私たちの人生において「良い地」を耕すことは、神のみことばが私たちの思いを貫き、私たちの心の動機や態度に影響を及ぼすことを意味します。

「神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄の分かれ目さえも刺し通し、心のいろいろな考えやはかりごとを判別することができます」(ヘブル4:12)。